

【L P ガス被災状況報告書 [販売事業者→支部]

様式 1

支部 御中

報告事業所名称 (支店等名含む)	担当者氏名	
	電話番号	

L P ガス関係被害状況報告 (第 1・ 2・ 3・ 4・ 5 報)

年 月 日現在

<p>報告書記入にあつての注意事項</p> <p>1. 被害がなくてもご提出ください。また、第1報は被害情報の全てが把握できていなくても判明している限りで出来る限り速やかにお願いいたします。</p> <p>2. F A X ・ メールが使用不能の場合、電話で報告をお願いします。</p> <p>3. 第1報後、新たに被害が判明した場合、または前回の報告から数字が変更になった場合は出来る限り速やかに報告をお願いいたします。 (同一用紙を使用可・この場合、第2報の場合は1及び2を○で囲むこととなり、変更した数字を修正してください。)</p>
--

1. 自社の被害 (被害の有無に○をつけてください。有りの場合は概要を記載)

項目	被害の有無	詳細
A 事業主・従業員の安否	無事・有事	(被害の人数や程度)
B 事務所の被害	無・有	(被害の程度)
C 容器置場・充填所	無・有	(被害の程度)
D スタンド	該当なし 無・有	(被害の程度)
E 車両	無・有	(被害の台数や程度)
F バルクローリー	該当なし 無・有	(被害の台数や程度)

2. 消費先の被害

下記の E、F 以外は概数でかまいません。

A	災害前の L P ガス供給世帯数 (概数記載可) 【A=B+C+D】	戸	
B	家屋倒壊や、避難等により供給復旧が見込めない世帯数 (概数記載可)	戸	
C	立入禁止等の理由により、被害状況の確認が出来ない世帯数 (概数記載可)	戸	
D	供給復旧可能及び復旧済み世帯数 (概数記載可) 【A - (B+C)】	戸	
Dの内 被害状況と未復旧数	E	ガス漏れ、漏えい爆発、漏えい火災のあった件数	戸
	F	Eのうち、未復旧件数	戸
	G	Eに該当しないが、メーターや調整器の交換及び工事等が必要な件数 (概数記載可)	戸
	H	Gのうち、未復旧件数	戸

未確認世帯数【C】および未復旧件数【F】及び【H】がゼロになるまで、報告をお願いします。

E は容器の流出によるものはガス漏れに含みません。

I:【E ガス漏れ・爆発・火災の被害の詳細】 ※ 発生場所 (市区町村名) 発生日時は必ず記入

3. 容器の流出 (判明している限りで構いません)

A: 消費先軒先からの流出・埋没本数	本	B: うち、累積回収本数	本
C: その他 (充填所・貯蔵施設・容器置場等) からの流出・埋没本数	本	D: うち、累積回収本数	本

4. 要請 (支援の有無)・連絡事項

--

【LPガス被災状況報告書 [販売事業者→支部]】(記入例)

様式 1

所属支部名を記入してください

岡山 支部 御中

報告事業所名称 (支店等名含む)	岡山県LPガス訓練棟	担当者氏名	〇〇〇〇
		電話番号	086-225-1636

LPガス関係被害状況報告 (第 1・ 2・ 3・ 4・ 5 報)

日付は訓練実施日を記入してください

令和7年9月10日現在

報告書記入にあつての注意事項

- 被害がなくてもご提出ください。また、第1報は被害情報の全てが把握できていなくても判明している限りで出来る限り速やかにお願いいたします。
- FAX・メールが使用不能の場合、電話で報告をお願いします。
- 第1報後、新たに被害が判明した場合、または前回の報告から数字が変更になった場合は出来る限り速やかに報告をお願いいたします。
(同一用紙を使用可・この場合、第2報の場合は1及び2を○で囲むこととなり、変更した数字を修正してください。)

1. 自社の被害 (被害の有無に○をつけてください)

今回の訓練では、該当する被害は「無」に○印を入れてください

項目	被害の有無	詳細
A 事業主・従業員の安否	無事・有事	(被害の人数や程度)
B 事務所の被害	無・有	(被害の程度)
C 容器置場・充填所	無・有	(被害の程度)
D スタンド	該当なし 無・有	(被害の程度)
E 車両	無・有	(被害の台数や程度)
F バルクローリー	該当なし 無・有	(被害の台数や程度)

2. 消費先の被害

【A】には直近の供給世帯数を記入してください

下記のE、F以外は概数でかまいません。

A	災害前のLPガス供給世帯数 (概数記載可) 【A=B+C+D】	100戸
B	家屋倒壊や、避難等により供給復旧が見込めない世帯数 (概数記載可)	10戸
C	立入禁止等の理由により、被害状況の確認が出来ない世帯数 (概数記載可)	10戸
D	供給復旧可能及び復旧済み世帯数 (概数記載可) 【A - (B+C)】	80戸
Dの内 被害状況と未復旧数	B, C, D, E, F, G, Hについては、訓練当日にFAXされる被害想定の数値を記入してください	15戸
	G 〇に該当しないが、ガス漏れ、調整弁の交換及び工事等が必要な戸数 (概数記載可)	15戸
	H Gのうち、未復旧件数	0戸
		0戸

未確認世帯数【C】および未復旧件数【F】及び【H】がゼロになるまで、報告をお願いします。

Eは容器の流出によるものはガス漏れに含みませ

【E】の戸数を基に、自社の主な供給地域で発生したとして記入して下さい。

I:【E ガス漏れ・爆発・火災の被害の詳細】 ※ また、今回の訓練では一覧表は不要です

ガス漏れ：岡山市で15件、8時40分ごろ発生、人的被害なし
その他、詳細は別紙一覧表を参照のこと

3. 容器の流出 (判明している限りで構いません)

A: 消費先軒先からの流出・埋没本数	0本	B: うち、累積回収本数	0本
C: その他 (充填所・貯蔵施設・容器置場等) からの流出・埋没本数	0本	D: うち、累積回収本数	0本

4. 要請 (支援の有無)・連絡事項

今回の訓練では「0」を記入してください

L P ガス 情報伝達訓練

別紙

災害想定等			
1	訓練の流れ		
訓練時刻	8 : 3 0	訓練参加機関	販売店、各支部、支部長、協会、会長、副会長、消防保安課、(全L協)
終了	1 3 : 0 0	訓練方法	訓練当日、想定した被害を同報ファックスにより販売店にファックス。販売店はこれを基に被害を判断し支部にファックス 支部は、これをとりまとめ、県協会本部にファックス伝達
災害の想定	災害の種別		
	災害発生の経緯及び被害状況等	9月10日午前8時30分、東海、東南海、南海地震により家屋の倒壊等甚大な被害が発生。この地震によりLPガス容器が転倒し、設備からガス漏れ等が発生した。	
被害情報伝達ルート (今回はFAXで実施)			
販売店→支部(集計)→協会→県消防保安課・全L協(支部は支部長へ、協会は会長等へ連絡) 8:30 10:30 12:00 13:00 ※販売店から報告する被害は、事前にお知らせします。			
救援物資要請に基づく調達訓練 (今回は実施しません)			
県消防保安課 → 協会 → 支部事務局 → 販売店 要請を受けた事務局は会長の指示の基に、支部又は直接販売店にガス器具等の保有(在庫)をファックスで調査。これを基に調達計画(数量、収集場所、配送方法を具体的に指示)を策定			
訓練担当者の氏名等			
所属機関名	担当者氏名等	電話(連絡用)	FAX(連絡用)
岡山支部	岡崎	086-225-1636	086-225-2762
倉敷支部	首藤	086-441-8220	086-441-8221
総社支部	松永	0866-93-0483	0866-92-6477
玉野支部	信清	0863-31-8776	0863-32-4376
児島支部	伊丹、田名後	086-474-6016	086-474-6046
玉島支部	上野、小笠原	086-522-5161	086-522-0670
笠岡支部	木村	0865-63-1151	0865-62-3730
井原支部	多賀	0866-62-3110	0866-62-6446
高梁支部	大宮	0866-22-2091	0866-22-2099
新見支部	藪木	0867-72-2516	0867-72-2087
真庭支部	植田、國本	0867-44-5552	0867-44-5343
津山支部	早瀬	0868-20-1741	0868-20-1742
赤磐支部	門野	086-957-2320	086-957-2925
西大寺支部	北畠	086-279-7070	086-279-7165
和気支部	西中	0869-64-2885	0869-63-1200
高山会長		086-223-3182	086-233-5419
永野副会長		086-279-0053	086-279-7974
苅田副会長		0868-22-6241	0868-23-2944
浅野副会長		086-224-4471	086-224-0618
中村副会長		086-428-0306	086-428-8353
協会事務局	野崎、原田、小林、佐藤	086-225-1636	086-225-2762
県消防保安課	川西、	086-226-7296	086-225-4659
全L協		03-3593-3500	03-3593-3700